

じないまち四季物語 秋

第13回

後の雛まつり



江戸時代、関西を中心に重陽の節供(旧暦九月九日)に行われたと伝わる「後の雛まつり」。

菊花とお雛様を飾ったことから、別名「菊雛」ともいうこの行事を、江戸時代からの古い商家・民家が残る富田林寺内町を中心に開催します。

2019年10月12日(土) 午前10時～午後4時
雨天決行(一部変更あり)

場 所：富田林寺内町界隈(近鉄長野線富田林駅下車徒歩5分)

※駐車場は数に限りがございますので、近鉄電車等公共交通機関のご利用をおすすめします。

主 催：じないまち四季物語実行委員会

共 催：富田林じないまち文化トラスト

後 援：大阪府・富田林市・近畿日本鉄道株式会社

問合せ：じないまち四季物語実行委員会 080-6205-4540(午前10時～午後5時/土日祝休)



第13回 後の雛まつり



日 時: 2019年10月12日(土) 午前10時～午後4時 ※雨天決行
主 催: じないまち四季物語実行委員会
共 催: 富田林じないまち文化トラスト

じないまち十三夜能

日 時: 2019年10月11日(金) 午後5時半より
会 場: 浄土真宗妙慶寺本堂
主 催: じないまち四季物語実行委員会
共 催: 富田林じないまち文化トラスト
じないまち謡講
料 金: 2,500円 定 員: 80名 申込み: 往復ハガキまたは電話
電 話: 080-6205-4540(10時～16時)
住 所: 富田林市富田林町26-18 (9月30日清印有効)

じないまち文房私宝 ～私の硯箱・文箱展

寺内町のお家や、寺内町に縁がある方たちがお持ちの
筆や硯、文箱、関連する書や軸などの他、万年筆やインク
瓶を使った各人オリジナルの現代文房私宝を展示します。
会場は寺内町の公共施設や古民家。
菊を添えた雛様と一緒に楽しみください。



文房私宝とは
中国文人の文房趣味のひとつ。
筆・硯・紙・水の四つを指す。
これらは文房具の中心であり、
実際に使用されるほか、特に硯は重宝とされ、
多くの文人に愛でられる対象となり、
骨董価値を持つようになった。

開催日: 2019年10月12日(土)～14日(月・祝)計3日間
(展示会場により、開催日は異なります。)
会場(予定): 寺内町センター・田守家・仲村家住宅
もりひろ亭・寺内町店舗等
入場料: 無料 主催: 富田林じないまち文化トラスト

会場案内

菊花・お雛様

寺内町界隈の店舗にも
飾り付けがごさいます。

